



飯田山常楽寺旧参詣道にある衛藤地蔵

## 益城の文化財

# えとう 衛藤地蔵

—本土山—

国道443号線、土山四つ角の集落から飯田山常楽寺への旧参詣道の途中に「衛藤地蔵」があります。この地蔵は、「椎木迫」(地名)の溜池工事に身を捧げた衛藤弥三兵衛(えとうやさべ)の地蔵尊です。地蔵から見渡せる台地には、今日13町の水田が開かれています。水田は、飯田山の「船子さん」の谷水を導水して開かれましたが、溜池に水を引き入れるために造られたのが矢谷隧道(トンネル)です。

鯰郷の庄屋に続いて小池の庄屋が工事を進めましたが完成せず、鯰郷惣庄屋に為基が就任し、隧道工事とともに溜池工事に取り掛かりました。また、村人から溜池の拡張工事に田地五反余を無償で提供されました。

為基は住所を土山に置いて、自ら工事の指揮に当たり、溜池の模型を造り、土の運び方を工夫したり、また日時計を作って工事の進捗にあたりました。

こうして、矢谷隧道と溜池工事は延2万人の労力と6年の歳月を経て天保13年(1842)年に完成しますが、為基は完成直後、溜池の満水と稲作を見ることなく57歳にして不慮の死を遂げました。為基の死後、「椎木迫」の溜池の見える所に埋めてほしい。いつまでも溜池と村民を守りたい」とした遺書があったと伝えられています。

本土山では農業神として毎年、3月19日に「堤祭り」、8月24日に「地蔵祭り」を行い用水の恵みと感謝のお祭りをしています。

参考文献「益城町史 通史編」

益城町文化財保護委員会

## 俳句

早川宏次 選

音もなく萩散る道にイタチかな  
静かなりきらめく水泡花いかなだ  
熊本城花酔ひ人が埋め尽くす  
ひっそりと枯木の中に野のスマイレ  
啓蟄は妻に苦悩の虫もあり  
海や山春の豊かな恵みなり  
内孫の園児と成りしむぞらしく

下陳 城 陶子  
木山 山口サツキ  
広崎 松原まゆみ  
惣領 阪口由美子  
木山 増岡 伸禎  
惣領 新居 露子  
惣領 阪口 基明

## 狂句

田上富岳 選

見くびって 女の怖さ知らっさん  
見くびって 追い抜かれとるゴール前  
見くびって 全世界から見放され  
見くびって オセロで孫に負けました  
見くびって 足蹴にしたら毒虻  
さすがが孫 お酌はするし肩は揉む  
さすがが孫 人ん良かつがとりえです  
さすがが孫 顔も仕事も俺に似て  
さすがが孫 長者の婿に見染められ  
さすがが孫 ろくよんまでもワカットル

宮園 永瀬 美波  
寺迫 左 喜樹  
島田 堀川 骨鶏  
広崎 松原まゆみ  
惣領 小森英美子  
寺迫 左 喜樹  
宮園 岩本よろこ  
惣領 阪口 基明  
木山 増岡 酔粹  
島田 堀川 骨鶏

## 狂句次号の課題 「そぎゃん言うな」「迷惑ないっ」

投稿は役場広報係まで。

投稿締切日は毎月15日です(当日必着)。

※数種に投稿される場合は、別にお送りください。